

平成 23 年 3 月 31 日

日野市

情報セキュリティ統括責任者

小川 孝 様

株式会社 JMC リスクソリューションズ



情報セキュリティ外部監査結果報告書

本報告書は、平成22年度日野市情報セキュリティ外部監査（以下、「本監査という」。）を実施した結果について報告するものです。

弊社は、平成 23 年 2 月 24 日（木）及び平成 23 年 2 月 25 日（金）に、「まちづくり部道路課」、「総務部財産管理課」及び「教育部庶務課」の 3 所属に対して、「ISO/IEC 27001:2005 認証基準」、「日野市情報セキュリティ対策基準」及び「地方公共団体情報セキュリティ管理基準（総務省）」を基に策定された「日野市情報セキュリティ管理基準」に照らして、情報セキュリティポリシーの遵守状況及び有効性について、関係者に対するヒアリング、規程や記録等のレビュー及び現場での目視によって確かめました。

また、昨年度監査対象となった「健康福祉部高齢福祉課」、「福祉保健部生活福祉課」、「まちづくり部区画整理課」及び「総務部情報システム課」の 4 所属又は組織に対して、改善の実施状況を確認するフォローアップ監査を実施しました。

その結果を下記のとおりご報告します。

記

本監査の結果は、監査対象となった所属では情報セキュリティ対策について日ごろから意識するだけでなく、概ね実施していることが確認されました。しかし、情報セキュリティ対策上の一部において改善の検討が必要な検出事項が確認されました。これらの検出事項については早急に是正方法を検討し、実施することが強く望まれます。

まず評価事項として、緊急時における運用手順書の整備に関する検出事項がありました。これは、緊急時における運用手順書が事象ごとに対応フローとして整備されており、システム障害時等の迅速な対応が期待できます。

次に改善事項として、情報システムの運用方法等の明確化に関する検出事項がありました。これは、情報システムの安定した稼働を維持するために、運用方針を明確にしたうえで、その運用記録を保持する活動が望まれます。そうすることで、より安全且つ安定した情報システムのセキュリティ確保が可能となると考えられます。また、情報システムの物

理的セキュリティ対策の課題として、より確実な運用が望まれる検出事項がありました。情報システムの対象及びその責任範囲を明確にしたうえで、日常の監視を強化する対応が望まれます。

最後にフォローアップ監査では、すべての改善事項に対して改善が実施されており、昨年度の監査で確認された問題点が放置されている事象は存在しませんでした。また、経過観察と判断した改善事項も、執務室内の配置換えに併せて実施するため現在対策実施中であるという理由であり、年度内の対応を予定していました。このことから、来年度に残る課題はないと判断しました。

以上